

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		入居者の重度化。全介助18人中9名食事介助についてしまうと、動きのある人につく事が出来ないなど。職員不足がある。	安心安全に食事介助のできる職員が十分いる事。	職員の超過勤務や外部の臨時NSなどを依頼しているが根本的解決に至っていない。介護度の変更申請を行い適切な介護認定を受け人員補充を行う。	3ヶ月
2		長期入居者の病状変化。持病の把握と対応の必要性。	病歴、生活歴など、アセスメントの見直しにより変化を見逃さない安全な介護につなげる。	医療知識の研修を行い、各ケースの見直しと注意事項の確認。医師との連携を密にする。	2ヶ月
3		認知の重度化、持病悪化、さらに看取りへと業務の多様化に伴い、限られた職員、限られた時間の中での消化、組み立ての必要性。	介護と生活業務がうまく回転すること。	分割して行なうことはできないし、あらゆる視点と行動で動かねばならないので、職員同士、上手に声掛け合っていく。動ける入居者2名～3名を自主的行動にしむけて変化のある楽しい生活にしている。	1ヶ月
4		看取りに至る入居者がいて、看取りを行った。大そう人手がかかることがわかった。職員の過重勤務になる事がわかった。	介護職員と、看護職員が無理なく配置できて、看取りが行えること。	看取り時は、家族に泊まり込んでもらっている。職員の補充の為、募集広告など出している。	2ヶ月
5					ヶ月